

栃の木からの手紙

2020年 文月 7月号



6月15日、アカシアの白い花が咲いた。そして、紅輪タンポポが咲き始めた。和歌山から来る蜂屋さんは今何処で作業しているのだろうか？ 去年は、アカシアの花が終わってからやって来た。花が咲いたことを知らせるとコロナ問題は養蜂業にも影響していて、今年には北海道には来ないという。

単なる蜂ではない。植物の生殖に関与する働きをする昆虫のひとつである。昆虫による受粉をする作物は少なからず影響を受けると思う。山林が白っぽく見える季節がやって来た。



- 1日： 半夏生
- 5日： 満月 旧 5月 15日
- 7日： 小暑：
- 21日： 新月 旧6月 1日
- 22日： 大暑

黒大豆、5月21日播種。翌22日にはハトによる食害を防止するために4名の研修生を入れてパオパオを掛けた。



李の白い花に緑の葉が混じり始めていた。

6月4日、黒大豆に掛けていたパオパオを剥がしました。

大豆の発芽揃いは良く、雑草も元気に生えている。大豆を

痛めない様に200mの長さの4本のパオパオを3人で剥がして行く。

大豆畑の雑草は、機械を入れて除草をしますが6月中旬には、人の手で1週間程掛けて除草を行いました。この後大豆の根元に機械で土寄せを行いました。

6月24日夕方、あの鳴き声が聞こえて来た。今にも雨が降り出しそうな天気の際に聞こえて来そうな寂しいようなこの鳴き声。

アオオ・オアオアオ。自衛隊の演習林から聞こえてくる「アオバト」の鳴き声。

